

グリーンパーク パティオの管理 運営について問う

なかや ひさこ
中矢 寿子

問 総合振興計画におけるパティオの位置付けは、これで良いのか。また、「ファミリー広場」等の設置により、オムツの外れない子供連れの家族が利用しやすくなると思うが、その考えは？

答 パティオは、農林水産省の補助金を受けて設置した産地形成促進施設で、花卉の消費拡大の拠点である。設置目的から考え、この位置付けにしている。また、プールに入れない家族に、ふれあいの場を提供することは難しいが、2階研修室を利用した親子で遊べる場の検討をしている。

問 障害者用駐車スペースの表示を改善する考えはないか。
答 障害者用駐車場案内板の設置を、早急に検討したい。
問 インフルエンザ対策は？
答 ポスターの掲示（手洗い・

うがいの呼びかけ）や、洗面所にせっけん・消毒液の設置をしている。



パティオ

くらしのガイドブック 改訂版の進捗状況を問う

問 来年4月に発行と聞いているが、どうなのか。

答 7月21日付けで、市内業者と委託契約が締結された。内容は、平成17年発行のものをもとに、修正・削除・追加等（公共施設等の地図を含む）を行い、来年4月の広報と同時に配布する予定。

問 多言語表記はするのか？
答 ページが大幅に増えることもあり、多言語表記は難しいが、ガイドブック完成後、ダイジェスト版（中国・スペイン語）の作成を考えている。

市の今後の 経済対策について

しみず むつみ
清水 睦

問 深谷市制度融資の保証料を市が補給し、中小企業・事業者の支援ができないか。

答 保証料の補給は考えていないが手続きの簡素化等は行っていると思う。

問 昨年10月より堆肥の補助制度を実施しているが、9月末で終了とのこと。今後も続けられないか。

答 継続できるように検討する。
問 失業者や低所得者に対する支援の今後の方向性は。
答 何ができるか経済対策本部で検討していく。

市立保育園民営化について

問 現在どのように検討しているのか。また、仮に民営化した後、閉園等に追い込まれる事態までは想定しないのか。
答 市としての方向性を検討しているところであり、民営

ふかや市議会だより（第16号 平成21年11月1日発行）
化が決定されたわけではない。安定的な保育運営を基本として取り組みを進めたい。



新型インフルエンザ ワクチンの助成制度を

問 新型インフルエンザワクチン接種に助成をする考えは。

答 今後の国の動向を注視し適切に対処する。

国保の一部負担金 （窓口払い）の減免について

問 最近収入に占める医療費の割合が高く、生活に困っているという声が多く寄せられている。国保の医療費一部負担金の減免制度の積極的な運用を行う必要があるのではないか。
答 当面窓口で相談を受けるとともに国の動向を見定めながら対応を検討していく。

次の選挙より 投票所減となるが 投票率を下げない 工夫は

うたむら はるえ
宇多村 春恵

問 投票と開票に従事する人員と人件費について。

答 1投票所に投票管理者1名、投票立会人3名、職員7名、人材派遣会社から2名を、開票所には職員150名、人材派遣会社から40名を配置している。投票開票事務の合計では、職員約400名、人材派遣会社から約200名を配置している。なお、職員の時給は2300円、人材派遣会社に時給1700円、投票管理者は1日当たり1万5000円、投票立会人は1万2500円である。

問 人材派遣の方を雇わないで新成人など募集する気はないか。
答 1日だけのために膨大な時間を費やすことになるため、今まで通り人材派遣会社の活用が有効であり、アルバイト

野生動物 について

とみ まさる
富田 勝

問 市内に生息する外来生物を含めた野生動物の生息は。

答 サル・シカ・イノシシは生息している個体ではないが目撃されている。ハクビシン及びアライグマは民家の軒下や屋根裏などに住み着くこともあり生息している。アライグマについては特定外来生物として位置づけられ、平成19年県による防除計画が定められ、当市も重点対策地域に指定されている。平成21年8月現在までに56頭が本田地区内で捕獲された。

問 目撃や被害が出た場合は、また、捕獲したものの処分はどのようにするのか。

答 市または北部環境管理事務所に連絡する。職員等により長さ1メートルくらいの鉄製箱などで捕獲し、獣医師による薬殺後、焼却処分する。

ふかや市民大学 「学習成果を街づくりに 生かす」が課題

かとう あつこ
加藤 温子

答 平成22年本格実施。学長は市長。主催・主管は教育委員会生涯学習課。10人による開校準備委員会を中心に、今年9月からのプレ開校と同時進行で、受講生の意見も聞き、運営方法・カリキュラム・実施回数等検討。いかに地域コミュニティづくりやボランティア活動の推進に役立てられるかを考え、取り組んでいきたい。

問 雇用創出の取り組みや検討はいかに。

答 平成21年～23年までの県費による「ふるさと雇用再生基金事業」では、鐘撞堂山遊休農地再生事業で1年以上3名、遺跡発掘の雇用6カ月5名等を計画、また、後継者不足による不耕作農地解消のため、新規雇用につながるいか検討している。ほか、市内企業訪問で市民の雇用要請をしていく。農地情報は農業委員会、PRについては市のホームページ、アグリハローワーク等。駅観光協会にもチラシを設置していきたい。

問 不況による離職者の雇用
離職者世帯支援と雇用創出

